

教科名	芸術	科目名	書道 I
対象	全スタイル	年次	1
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	8
単位数	2	備考	必履修科目
教科書・補助教材等	701 書道 I (東京書籍) 書道 I 教科書授業インターネット講座		
学習の目的	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	書写から書道へ	文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先の向きによって、さまざまな線の表現ができることを理解する。
	5	漢字の書	漢字の成立と変遷について理解する。 臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。 楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。
	6	漢字の書	行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。
	7	漢字の書	行書の古典を臨書する意義について理解する。
	8		
	9	漢字の書	草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	仮名の書	仮名が成立する過程や仮名の種類などについて理解する。 仮名の用具・用材と、それぞれの特徴について理解する。
	11	仮名の書	行書きの構成について理解し、練習する。 散らし書きの構成について理解し、練習する。
	12	仮名の書	創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。 創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。
	1	漢字仮名交じりの書	さまざまな線で楷書と平仮名・片仮名の調和を試みる。 さまざまな線で行書と平仮名の調和を試みる。
	2	漢字仮名交じりの書	創作の手順に従い、自分で選んだ言葉や詩文で創作する。
	3	篆刻・刻字	篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 刻字の用具・用材や創作の手順について理解し、刻字の仕方について学習する。
学習上の留意点		「人物」「時代背景」なども活用する。中国や日本の行書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方を学び、それぞれの書風の違いに注意して臨書する。	
評価の観点			評価方法
主体的に学習に取り組む態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。		レポート 授業 作品提出 定期考査
思考・判断・表現	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。		
知識・技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。		